

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	九州財務局長
【提出日】	平成26年4月14日
【四半期会計期間】	第90期第1四半期（自 平成25年12月1日 至 平成26年2月28日）
【会社名】	サンケイ化学株式会社
【英訳名】	SANKEI CHEMICAL CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 福谷 明
【本店の所在の場所】	鹿児島市南栄二丁目9番地
【電話番号】	鹿児島（099）268-7588（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役総務本部長 福谷 理
【最寄りの連絡場所】	東京都台東区上野七丁目6番11号（第一下谷ビル）
【電話番号】	東京（03）3845-7951（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役業務本部長兼東京事業所長 西元 孝範
【縦覧に供する場所】	サンケイ化学(株) 東京本社 （東京都台東区上野七丁目6番11号（第一下谷ビル）） 証券会員制法人 福岡証券取引所 （福岡市中央区天神二丁目14番2号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第89期 第1四半期連結 累計期間	第90期 第1四半期連結 累計期間	第89期
会計期間	自平成24年 12月1日 至平成25年 2月28日	自平成25年 12月1日 至平成26年 2月28日	自平成24年 12月1日 至平成25年 11月30日
売上高(千円)	1,243,380	1,875,304	6,545,816
経常利益(千円)	117,098	166,521	181,821
四半期(当期)純利益(千円)	74,959	111,919	113,708
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	111,191	82,477	221,776
純資産額(千円)	2,171,878	2,342,929	2,281,954
総資産額(千円)	6,644,848	7,160,601	6,436,228
1株当たり四半期(当期)純利益金 額(円)	7.35	10.98	11.15
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	31.94	32.00	34.54

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、新たに締結した経営上の重要な契約は次のとおりであります。

契約先	契約年月日	有効期間	契約の内容
全国農業協同組合連合会	平成26年2月13日	平成25年12月1日から 平成26年11月30日まで	売買基本契約に基づく平成26年度 農薬の売買に関する契約

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、現政権による各種政策の効果が下支えするなかで家計所得や投資が持ち直す傾向にあり、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

国内の農業に関しましては、就業者の高齢化や後継者不足などの構造的な問題の解決は進んでおりません。またTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）の農業分野に関する交渉は難航しており、依然として国内農業を取り巻く環境の先行きは不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは従来からの地域密着を基本に、水稲用殺虫剤「スクミノン」ならびに食品由来物質を用いた「サンクリスタル乳剤」、「ハツパ乳剤」、「バイオネクト」などの独自開発品に加え、総合防除による環境保全型農業への推進、森林や公園・ゴルフ場等の緑化防除事業ならびに不快害虫防除薬剤の開発と防除事業などに注力するとともに受託生産にも努めて工場の操業度向上を図ってまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は消費税率引き上げ前の駆け込み需要の影響もあり、18億75百万円（前年同期比6億31百万円、50.8%増）となりました。損益面では、売上高の増加により、営業利益は66百万円（前年同期比26百万円、67.0%増）、経常利益は保険解約返戻金等の計上があり1億66百万円（前年同期比49百万円、42.2%増）となり、四半期純利益は1億11百万円（前年同期比36百万円、49.3%増）となりました。

#### (2) セグメント別の情報

当社グループの事業は単一セグメントであります。製品の用途別売上は以下のとおりとなりました。

殺虫剤は水稲用、園芸用、森林用が共に増加し売上高は11億41百万円（前年同期比4億31百万円、60.7%増）、殺菌剤は園芸用が増加し売上高は2億52百万円（前年同期比77百万円、44.6%増）、殺虫殺菌剤は園芸用が増加し売上高は1億24百万円（前年同期比39百万円、46.8%増）、除草剤は水稲用が増加し売上高は1億69百万円（前年同期比57百万円、50.8%増）、その他は園芸用が増加し売上高は75百万円（前年同期比28百万円、59.6%増）、農薬外その他は森林用が減少し売上高は1億13百万円（前年同期比1百万円、1.5%減）となりました。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における当社グループの研究開発活動の金額は、47百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年2月28日)	提出日現在発行数 (株) (平成26年4月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	10,197,000	10,197,000	福岡証券取引所	権利内容に何ら限定のない 当社における標準となる株 式であり、単元株式数は 1,000株であります。
計	10,197,000	10,197,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年12月1日～ 平成26年2月28日	-	10,197,000	-	664,500	-	295,451

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年11月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年11月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 7,000	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 10,071,000	10,071	-
単元未満株式	普通株式 119,000	-	-
発行済株式総数	10,197,000	-	-
総株主の議決権	-	10,071	-

（注） 「完全議決権株式（その他）」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が2,000株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数2個が含まれております。

【自己株式等】

平成25年11月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
サンケイ化学(株)	鹿児島市南栄二丁目9番地	7,000	-	7,000	0.07
計	-	7,000	-	7,000	0.07

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年12月1日から平成26年2月28日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年12月1日から平成26年2月28日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人かごしま会計プロフェッションによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,191,152	1,419,312
受取手形及び売掛金	1,605,183	1,753,158
信託受益権	735,810	888,928
商品及び製品	860,118	1,036,081
仕掛品	32,845	46,937
原材料及び貯蔵品	271,947	310,678
繰延税金資産	55,932	79,448
その他	63,729	46,450
貸倒引当金	1,494	740
流動資産合計	4,815,225	5,580,255
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	237,847	232,036
機械装置及び運搬具(純額)	88,892	81,735
土地	304,891	304,891
リース資産(純額)	46,483	41,446
その他(純額)	28,206	25,795
有形固定資産合計	706,320	685,905
無形固定資産		
ソフトウェア	28,149	26,418
その他	2,745	2,737
無形固定資産合計	30,895	29,156
投資その他の資産		
投資有価証券	725,683	700,251
繰延税金資産	56,954	66,492
その他	115,619	113,010
貸倒引当金	14,470	14,470
投資その他の資産合計	883,787	865,284
固定資産合計	1,621,003	1,580,346
資産合計	6,436,228	7,160,601

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,374,161	1,766,195
短期借入金	510,000	510,000
1年内返済予定の長期借入金	380,687	445,057
リース債務	18,331	16,966
未払法人税等	30,677	88,083
賞与引当金	13,243	48,499
販売促進引当金	104,431	121,209
未払賞与	85,923	-
その他	301,704	250,089
流動負債合計	2,819,161	3,246,101
固定負債		
長期借入金	694,089	931,281
リース債務	30,475	26,552
退職給付引当金	350,444	347,669
役員退職慰労引当金	57,200	58,100
長期預り保証金	202,902	207,967
固定負債合計	1,335,112	1,571,570
負債合計	4,154,274	4,817,672
純資産の部		
株主資本		
資本金	664,500	664,500
資本剰余金	296,620	296,620
利益剰余金	1,121,259	1,212,799
自己株式	696	844
株主資本合計	2,081,683	2,173,075
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	141,541	118,460
その他の包括利益累計額合計	141,541	118,460
少数株主持分	58,728	51,393
純資産合計	2,281,954	2,342,929
負債純資産合計	6,436,228	7,160,601



(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年2月28日)
売上高	1,243,380	1,875,304
売上原価	861,108	1,427,333
売上総利益	382,271	447,971
販売費及び一般管理費	342,424	381,431
営業利益	39,847	66,540
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,928	3,880
保険解約返戻金	65,354	85,619
持分法による投資利益	5,227	9,692
その他	9,347	5,517
営業外収益合計	83,857	104,711
営業外費用		
支払利息	6,591	4,551
その他	15	178
営業外費用合計	6,606	4,730
経常利益	117,098	166,521
特別利益		
受取保険金	-	4,928
特別利益合計	-	4,928
特別損失		
固定資産除却損	100	0
特別損失合計	100	0
税金等調整前四半期純利益	116,998	171,449
法人税、住民税及び事業税	51,291	86,279
法人税等調整額	7,383	20,375
法人税等合計	43,907	65,904
少数株主損益調整前四半期純利益	73,090	105,545
少数株主損失( )	1,868	6,374
四半期純利益	74,959	111,919

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	73,090	105,545
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,765	23,346
持分法適用会社に対する持分相当額	335	278
その他の包括利益合計	38,101	23,067
四半期包括利益	111,191	82,477
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	112,984	88,837
少数株主に係る四半期包括利益	1,792	6,359

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年12月1日至平成25年2月28日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成25年12月1日至平成26年2月28日)

当社グループの中心であります農薬事業は、季節的要因が大きく、第1四半期は不需要期にあたるため、他の四半期に比較し相対的に売上高は低水準に推移する傾向がありますが、当第1四半期は平成26年4月1日より実施される消費税増税に伴う駆け込み需要の関係で例年に比較し、売上高は大幅に増加しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年2月28日)
減価償却費	23,022千円	22,152千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年12月1日至平成25年2月28日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年2月26日 定時株主総会	普通株式	20,387	2.00	平成24年11月30日	平成25年2月27日	利益剰余金

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年12月1日至平成26年2月28日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年2月25日 定時株主総会	普通株式	20,379	2.00	平成25年11月30日	平成26年2月26日	利益剰余金

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成25年12月1日 至平成26年2月28日)

当社グループは農薬の製造販売、ならびに農薬に関連した防除作業を事業内容としており、事業区分が単一セグメントのため記載しておりません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年2月28日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	7円35銭	10円98銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	74,959	111,919
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	74,959	111,919
普通株式の期中平均株式数(株)	10,193,361	10,188,742

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年4月9日

サンケイ化学株式会社

取締役会 御中

監査法人 かがしま会計プロフェッション

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 田畑 恒春 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 本田 親文 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているサンケイ化学株式会社の平成25年12月1日から平成26年11月30日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年12月1日から平成26年2月28日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年12月1日から平成26年2月28日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、サンケイ化学株式会社及び連結子会社の平成26年2月28日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLのデータ自体は含まれていません。